

令和3年度 介護支援専門員実務・更新(未)・再研修

課題整理総括表の記入 方法と活用方法について

作成手順(一例)

「状況の事実」の「現在」欄を記入



まず「自立した日常生活の障害要因」欄を記入し、
次に「状況の事実」の「要因」の各欄に関連する要因の記号番号を記入



「状況の事実」の「改善／維持の可能性」欄を記入し、必要に応じて「備考」欄を記入



「見通し」欄を記入



「利用者及び家族の生活に対する意向」欄を記入



「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】」欄を記入し、課題の優先順位を記入



サービス担当者会議の結果、ケアプランに位置づけなかった課題について
優先順位欄に「－」印を記入

状況の事実欄

課題整理総括表

利用者名

殿

作成日

/ /

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③		
		④	⑤	⑥		
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
買物		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
認知		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
社会との関わり		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
居住環境		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
					改善 維持 悪化	

利用者及び家族の 生活に対する意向			
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6	

※1 本書式は報告書でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(且)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

「状況の事実」の「現在」欄の記入方法

• ADL, IADL

- 収集・整理した情報に基づき、各項目に記載している日常動作について、それぞれ日常的にしているかどうかを判断し、「自立」「見守り」「一部介助」「全介助」のいずれかに○印を記入する。
- あくまでも「している」かどうかを判断するものであって、「できる」かどうかは考慮しない。なお、本欄の判断基準は要介護認定調査の判断基準とは異なる。

【参考】

- 男性や施設入居者等で自身では家事をしていない場合などは、「全介助」とし、要因欄に「同居家族が実施」あるいは「施設サービスを利用」と記入する
- 場所や時間帯で「している」状況が変化する場合は、頻度の大きい状態に基づいて記入する

• 上記以外の項目

- 収集・整理した情報に基づき、各項目について、それぞれ日常生活を送る上でどの程度の支障があるかどうかを判断し、「支障なし」「支障あり」のいずれかに○印を記入する。
- 「支障あり」の場合はその具体的内容を備考欄に記入する。

状況の事実 ※1		現在 ※2					
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
食事	食事内容		支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
排泄	排尿・排便		支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
口腔	口腔衛生		支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化
コミュニケーション能力			支障なし	支障あり			維持 悪化
認知			支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
社会との関わり			支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
褥瘡・皮膚の問題			支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
行動・心理症状(BPSD)			支障なし	支障あり			改善 維持 悪化
介護力(家族関係含む)			支障なし	支障あり			
居住環境			支障なし	支障あり			

日常的にしているかどうかを判断
「できるかどうかは考慮しない」同居者が全て実施している場合は「全介助」

生活環境によって状況が異なる場合は頻度の高い方(例:通所介護と自宅で違う場合)

現在は症状が現れていないがリスクが大きいと判断した場合は「支障あり」とする。

支障ありの場合は具体的な状況を備考欄に

起居動作や経済状況など必要に応じて追加する

項目	状況	記入例
屋内移動	多少のふらつきがあり転倒リスクはあるものの、階段昇降を含めて移動している	自立
屋外移動	ヘルパーが付き添うと病院まで自力で移動するが、付き添いがないと外出しない	見守り
口腔ケア	デイサービスで声かけされれば歯磨きをするが、自室等において声かけがないと全くしない	見守り
服薬	飲むべき薬の判断と飲むための準備ができない 薬とコップに入れた水を手渡すと飲むことができる	一部介助
調理	自身では全く調理していない (ヘルパーが準備したものを食べている)	全介助
入浴	週二回のデイサービスで立位保持と洗身の介助があれば入浴しているが、自宅では全く入浴していない	全介助

阻害要因欄

課題整理総括表

利用者名

股

作成日

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③
		④	⑤	⑥
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3
				改善/維持の可能性※4
				備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
食事	食事内容	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
買物		自立	見守り 一部介助 全介助	改善 維持 悪化
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
認知		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
社会との関わり		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
居住環境		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
				改善 維持 悪化

利用者及び家族の 生活に対する意向	
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】 ※6

※1 本欄は紙ベースでありアクセスツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した各課題的事実を記載する。選択時に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択時に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる今後の状況(目標)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

「要因」の記入方法

• 「自立した日常生活の障害要因」欄

- 収集した情報の整理、分析結果に基づき、この方の自立を障害している根本的な要因を推定し、「自立した日常生活の障害要因」欄に記載する。

※繰り返しになるが、情報の収集・分析がある程度終わった後に課題整理総括表を作成する。したがって、自立した日常生活を阻んでいる要因がある程度捉えられていることが前提。

- 本欄には、利用者のところとからだの状況あるいは生活の環境等について、客観的事実を記載する。客観的事実を記載することが困難である場合は、引き続き情報の収集・整理、分析が必要である。
- ここでの「要因」には、その方のところとからだに関する要因のほか、環境に関する要因も含まれる場合もありうる。

• 「状況の事実」の「要因」欄

- 「状況の事実」の「現在」欄で、「自立」あるいは「支障なし」以外を選択した項目について、「自立」あるいは「支障なし」以外となっている要因として、「自立した日常生活の障害要因」欄に記載した番号(丸数字)を記入する。

※ 上記の両欄は、記述を進めながら相互の整合性を確認し、修正することが望ましい。

自立した日常生活の阻害要因欄

自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態、環境等)	①	②	③
	④	⑤	⑥

数字は優先順位ではない

介護支援専門員は様式作成前に利用者の自立した日常生活を阻んでいる要因を具体的にとらえていることが求められる

要因は疾患が多いと思われるが、疾患に応じた療養や健康管理等も含めて整理し、糖尿病が原因疾患でも「糖尿病の管理不足」「食事管理ができない」「インシュリンの自己注射の管理ができない」等を記載することもある。

生活の環境等の記載 例「独居」「住環境(寝室が2階)」、「同居家族との折り合い」「家事をしたことがない」等を記入する。

状況の事実 ※1		現在 ※2				要因※3	改善/維持の可能性※4			備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善			
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善			
食事	食事内容	支障なし		支障あり			改善			
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善			
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		改善			
排泄	排尿・排便	支障なし		支障あり			改善	維持	悪化	
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし		支障あり			改善			
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助		改善			
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助		改善			
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助		改善			
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助		改善			
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	
コミュニケーション能力		支障なし		支障あり			改善	維持	悪化	
認知		支障なし		支障あり			改善	維持	悪化	
社会との関わり		支障なし		支障あり			改善	維持	悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし		支障あり			改善	維持	悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし		支障あり			改善	維持	悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし		支障あり			改善	維持	悪化	
居住環境		支障なし		支障あり			改善	維持	悪化	
							改善	維持	悪化	

阻害要因欄の番号を記入する。
複数の番号を記入して構わない

阻害要因欄にない場合には要因
欄に記入し修正をしていく

改善維持の可能性

課題整理総括表

利用者名 _____

作成日 _____ / _____ / _____

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③		
		④	⑤	⑥		
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
買物		自立	見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
認知		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
社会との関わり		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
居住環境		支障なし 支障あり			改善 維持 悪化	
					改善 維持 悪化	

利用者及び家族の 生活に対する意向		
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6

※1 本表式は紙媒体でありタブレットツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択時に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択時に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための課題内容と、それが提供されることによって見込まれる今後の状況(且護)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

「改善/維持の可能性」の記入方法

- 「状況の事実」の「現在」欄で、「自立」あるいは「支障なし」**以外**を選択した項目について、必要な援助を利用した場合に「現在」の状況が改善/維持/悪化の可能性の有無を選択し、丸印を記入する。
- 改善/維持/悪化の可能性を捉える期間は、作成しようとするケアプランの期間程度を想定する。
- この欄は、主治医意見書等の多職種からの意見を踏まえた上で、あくまでも介護支援専門員自身の判断に基づいて記入する。

状況の事実 ※1		現在 ※2			要因※3	改善/維持の可能性※4			備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
食事	食事内容	支障なし 支障あり				改善	維持		
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり				改善	維持	悪化	
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり				改善	維持	悪化	
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり				改善	維持	悪化	
認知		支障なし 支障あり				改善	維持	悪化	
社会									
褥瘡									
行動									
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり				改善	維持	悪化	
居住環境		支障なし 支障あり				改善	維持	悪化	
						改善	維持	悪化	

認定有効期間を見通して、必要な援助(フォーマル、インフォーマルなどの社会資源)を利用した場合に現在の状況がどう変化するかの評価を行う

よって、悪化する場合にはサービスの見直しやニーズの変更などが考えられることとなる。

「改善/維持の可能性」の欄

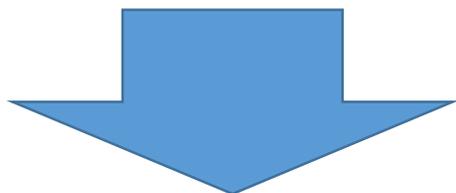
状況の事実 ※1		現在 ※2				要因※3	改善/維持の可能性※4			備考(状況・支援内容等)	
移動	室内	<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">補足すべき情報を記入する。 支障の内容や、支援の内容など、また現在使用しているサービス、家族の支援状況や生活環境なども補記する</p>					維持	悪化			
	屋外						維持	悪化			
食事	食事						維持	悪化			
	食事						維持	悪化			
	調理						維持	悪化			
排泄	排尿						維持	悪化			
	排泄						維持	悪化			
口腔	口腔						維持	悪化			
	口腔						維持	悪化			
服薬							維持	悪化			
入浴							維持	悪化			
更衣			自立	見守り	一部介助	全介助		改善		維持	悪化
掃除			自立	見守り	一部介助	全介助		改善		維持	悪化
洗濯			自立	見守り	一部介助	全介助		改善		維持	悪化
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化		
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化		
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化		
コミュニケーション能力			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化		
認知			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化		
社会との関わり			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化		
褥瘡・皮膚の問題			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化		
行動・心理症状(BPSD)			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化		
介護力(家族関係含む)			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化		
居住環境			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化		
							改善	維持	悪化		

見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】	※6

自立した日常生活を妨げている要因の解決に向けて「どのような援助を実施することにより(要因の解決のために必要と考えられる援助内容)」、「状況がどのように変化すると見込まれるか」を記入する。

見通し欄

本欄には、「利用者の自立した日常生活を妨げている要因」の解決に向けて、多職種からのアドバイスを受けつつ、当該ケアプランの短期目標の期間を見据えて、「どのような援助を実施することにより」(要因の解決のために必要と考えられる援助内容)、「状況がどのように変化することが見込まれるか」(援助を利用した場合に到達が見込まれる状態)を記入する。



よって、障害要因の欄に記載された数に応じた見通しを記載する必要がある。

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)	①糖尿病のコントロール不足	②独居(家事をしたことがない)	③下肢筋力低下
	④	⑤	⑥

見通し欄に記載する構文の例

※あくまで一例。こう書かなければいけないというものではない

見通し ※5

生活全般の解決すべき課題(ニーズ) ※6

食事指導により食事内容を変更し、内服薬の継続と適度な運動を行うことで、体重が減少し、合併症予防ができる可能性がある

現状できていない拭き掃除の支援を受けることで、一人暮らしの不安が軽減できる

日中の活動や近隣までの散歩など運動量を増やすことで自宅での階段昇降の維持と、以前のように近くまで買い物に行くことができるようになる。

「見通し」の記入方法

• 全体的な記入方法

- 本欄には、「自立した日常生活の阻害要因」の解決に向けて、「どのようなケアを実施することにより」、「状況がどのように変化することが見込まれるか」（「現在」の状況がどのような状態に至る見込みがあるか）を記入する。
- 到達する状態を想定する期間としては、当該ケアプランの短期目標の期間程度を想定する。

• 「改善/維持の可能性」欄で改善あるいは維持に丸印をつけた項目

- 「改善/維持の可能性」欄で丸印をつけた項目については、改善/維持の視点に方向性に基づき、その項目における「要因」を解決するための「ケア」の内容と、それを実施することで到達が見込まれる状況を記入する。

• 「改善/維持の可能性」欄で悪化に丸印をつけた項目

- 重度化防止・悪化の遅延化の方向性に基づいて、必要性の高い「ケア」の内容と、具体的な状況の見通しを記入する。

※ 本欄の記載はあくまでも介護支援専門員としての仮説である

利用者及び家族の 生活に対する意向

ケアプランの1表の利用者の生活に対する意向と同一内容である必要はなく、重要と思われる内容を簡単に記入する

「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】」 の記入方法

- 「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】」欄
 - 「見通し」欄の記入内容を踏まえ、ケアプランの第2表の原案に記載する、あるいは利用者に提案する案文を記入する。
※繰り返しになるが、情報の収集・分析が終わった後に課題整理表を作成する。したがって、利用者・家族等からの聞き取りにより、「利用者が望む生活」が捉えられていることが前提。
 - 優先順位欄
 - 課題の優先順位を踏まえて、数字を記入する。
 - サービス担当者会議で利用者と協議の結果、当該期間のケアプランに反映しないこととした(反映できなかった)課題については、「—」印を記入する。
- ※ この内容はあくまでも案文であり、最終的にはケアプラン第2表と同様に利用者と合意して確定すべきものである。

見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】	※6

見通し欄の内容を踏まえて
記入する

優先順位
プランに反映でき
ていないニーズ
には「ー」を記入
する

前提条件と作成手順

- 前提条件

- ケアプランの第2表に位置づけた短期目標の終期の時点をめぐりに作成する。
- その時点で目標の終期を迎えた短期目標についてのみ記載すれば良い。 ※本表はあくまでも短期目標の終期に作成する

- 作成と活用の手順(一例)

- ① 第2表から「短期目標」「期間」「援助内容」を転記
- ② 個別サービス提供者からの報告書等に基づき、「結果」と「コメント」を記載
- ③ (ケアプランの更新や見直しに向けた)サービス担当者会議で、個別サービス提供者と結果やその対応を検討

「結果」と「コメント」の記入方法（例）

• 「結果」

- 「判断の時期」には、短期目標の終期を記載する。
- 個別サービス提供者からの報告を踏まえ、短期目標の達成度合いを評価し、以下の凡例に基づいて記号を記入する。

短期目標の実現度合い	記号
短期目標は予想を上回って達せられた (より積極的な目標を設定できる可能性がある)	◎
短期目標は達せられた (再度アセスメントして新たに短期目標を設定する)	○
短期目標は達成可能だが期間延長を要する	△
短期目標の達成は困難であり見直しを要する	×1
短期だけでなく長期目標の達成も困難であり、見直しを要する	×2

• 「コメント」

- 個別サービス提供者からの報告事項や主治医意見書等での指摘事項を踏まえ、次のケアプランを策定するに当たり留意すべき事項を簡記する。